Na	△ン米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
181	M53 その他の脊柱 障害,他に分類さ れないもの	0 + 2022年 + 2021年	[医科] ICD-10(ver.2013): M53 その他の脊柱障害,他に分類されないもの外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 以 20% 以 20% 以 20% 以 2022年6月:7.5 2022年1~9月累積:5.6 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -15.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
182	M54 背部痛	[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 年 2022年 + 2021年 - 2020年 - 2018年 - 2017年 - 2016年 - 2016年 - 2015年 東急事態宣言 の該当期間(2020年) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 - 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 20% 0% 20% 60% 1
183	M75 肩の傷害<損 傷>	[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害く損傷> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 (600 ロイビの400 (日 (2021年 - 2021年 - 2021年 - 2018年 - 2018年 - 2018年 - 2017年 - 2016年 - 2015年 日	[医科] ICD-10 (ver.2013): M75 肩の傷害<損傷> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 40% -20% 世 -40% -40% -80% -80% -100%
184	M79 その他の軟部 組織障害,他に分 類されないもの	日 300	[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害,他に分類されないもの外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 0% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年月: 16.2 2022年1~9月累積: 13.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
185	M81 骨粗しょう < 鬆 > 症 < オステオ ポローシス > , 病 的骨折を伴わない もの	◆ 2021年 → 2020年 → 2019年 → 2018年	[医科] ICD-10 (ver.2013): M81 骨粗しょう (鬆 > 症 < オステオポローシス > , 病的骨折を伴わないもの外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 10% 10% 100% 100% 100% 100% 100%

No	△───	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
IVO	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
186	N18 慢性腎臓病	○ ²⁰⁰ → ²⁰²¹ 年	[医科] ICD-10 (ver.2013): N18 慢性腎臓病外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6数 第6波 第7波 第6数 第6波 第7波 第6数 第6数 第7波 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第7波 2022年6月:15.7 2022年6月:15.7 2022年1~9月累積:9.9 1回目 2回目 3回目 4回自 最大減少幅: -5.8 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
187	N19 詳細不明の腎 不全	[医科] ICD-10(ver.2013):N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 200 (田イン150 (田イン150) (田代イン150) (田代イン150	[医科] ICD-10 (ver.2013): N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 90% -20% 世 -20% -40% -60% -80% -80% -100% 1回目 2回目 3回目 4回自 最大減少幅: -6.4 2022年 1月 6月 1月 7次)
188	N20 腎結石及び尿 管結石	[医科] ICD-10(ver.2013):N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 120 (田 90 (日 90 (田 90 (日 90 (田 90 (日 90 (90 ([医科] ICD-10(ver.2013): N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 20% -40% -40% -80% -100% 緊急事態宣言 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -12.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
189	N28 腎及び尿管の その他の障害,他 に分類されないも の	[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害,他に分類されないもの外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 (四 Y C 100	[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害、他に分類されないもの外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2020年 1月 6月
190	N30 膀胱炎	[医科] ICD-10(ver.2013):N30 膀胱炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (150 (150 (150) (1	[医科] ICD-10(ver.2013): N30 膀胱炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% -40% 表 -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 8.1 2022年1~9月累積: 2.2 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -15.0 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
191	N32 その他の膀胱 障害	[医科] ICD-10 (ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2009 日本 2009 日本 20
192	N40 前立腺肥大 (症)	[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第2029年6月:11.3 2022年6月:11.3 2022年6月:11.3 2022年1~9月累積:10.6 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-9.9 1月 6月 1月 6月 日月 1日
193	N76 腟及び外陰の その他の炎症	[医科] ICD-10(ver.2013):N76 腔及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングロ 150	[医科] ICD-10(ver.2013): N76 腟及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 (対2019年同期比(%)) 2022年6月:1.0 2022年6月:1.0 2022年1~9月累積: -3.6 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -17.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
194	N80 子宮内膜症	○	[医科] ICD-10 (ver.2013): N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 70% 30% 世 10% 表 30% 上 50 上 50
195	N86 子宮頚(部) のびらん及び外反 (症)	□ 021年	[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頚(部)のびらん及び外反(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月: 6.6 2022年1~9月累積: 1.4 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -22.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
196	N87 子宮頚(部) の異形成	[医科] ICD-10(ver.2013): N87 子宮頚(部)の異形成 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 75 (日 7	[医科] ICD-10(ver.2013):N87 子宮頚(部)の異形成外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 第0% 第3波 第5波 第6波 第7波 第0%
	N92 過多月経,頻 発月経及び月経不 順	[医科] ICD-10(ver.2013): N92 過多月経、頻発月経及び 月経不順 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 150 (日 150	[医科] ICD-10(ver.2013): N92 過多月経、頻発月経及び 月経不順 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% (※) 20% 世 -40% -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 30.9 2022年1~9月累積: 24.5 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -17.0 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
198	N94 女性生殖器及 び月経周期に関連 する疼痛及びその 他の病態	[医科] ICD-10(ver.2013): N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 300 年 2022年 2020年 2020年 2020年 2020年 2019年 2018年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 第3波 第5波 第6波 第7波 30% 以上 70% 30% 以上 70% 2022年6月: 66.0 2022年1~9月累積: 59.6 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: 0.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
199	N95 閉経期及びそ の他の閉経周辺期 障害	[医科] ICD-10(ver.2013): N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン200 (ロイン2000年)	[医科] ICD-10(ver.2013): N95 閉経期及びその他の閉経 周辺期障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 世 -40% 世 -40% 「
200	N97 女性不妊症	[医科] ICD-10(ver.2013): N97 女性不妊症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングン 150 (ロングン 150 (ロングン 100 (ロングン 1	[医科] ICD-10 (ver.2013): N97 女性不妊症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第6波 第6波 第6波 第88 第88 第88 第88 第88 第88 第88 第88 第88 第8

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013): O20 妊娠早期の出血	(2020~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013)∶O20 妊娠早期の出血
201	O20 妊娠早期の出 血	外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)	外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 0% -20% -40% -40% -80% -100% -
202	O21 過度の妊娠嘔 吐	[医科] ICD-10(ver.2013):O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (20.0 (2	[医科] ICD-10(ver.2013): O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 20% 0% -20% 世 -40% -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:24.2 2022年1~9月累積:23.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -7.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
203	O24 妊娠中の糖尿 病	[医科] ICD-10(ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (15.0	[医科] ICD-10 (ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 0% 0% 100 -60% -80% -100% 2022年6月: 15.6 2022年1~9月累積: 6.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -5.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)
204	O60 切迫早産及び 早産	[医科] ICD-10(ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10 (ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 0% 0% -20% -40% -40% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -9.4 緊急事態宣言 2022年1~9月累積: -17.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -22.1 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)
205	099 他に分類され るが妊娠, 分娩及 び産じょく < 褥 > に合併するその他 の母体疾患	[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、 分娩及び産じょくく褥>に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、 分娩及び産じよく~褥>に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 33波 第5波 第6波 第7波 (20% 140% 140% 140% 140% 140% 140% 140% 14

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
140	カス	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
206	P07 妊娠期間短縮 及び低出産体重に	[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害,他に分類されないもの外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日30 日30 日4 日30 日4 日30 日4	[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害,他に分類されないもの外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 5.8 2022年1~9月累積: -6.2 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -34.5 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
207	Q21 心(臓)中隔 の先天奇形	[医科] ICD-10(ver.2013):Q21 心(臓)中隔の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 30 (田イン) 30 (田イン) 30 (田イン) 4 2022年 2021年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q21 心 (臓) 中隔の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 90% -40% -60% -80% -100% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.9 2022年1~9月累積: -2.7 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -28.6 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
208	Q25 大型動脈の先 天奇形	[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 15.0 (田 インフェート 10.0 (ロンイン) (ロン) (ロン) (ロン) (ロン) (ロン) (ロン) (ロン) (ロ	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 中40% -80% -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 2.7 2022年1~9月累積: -5.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -28.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)
209	Q61 のう<嚢>胞 性腎疾患	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q61 のうく嚢> 胞性腎疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 20.0 (田 Y 15.0 (田 Y	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q61 のうく嚢>胞性腎疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 10% 10% 10% 100% 100% 100% 100% 100%
210	Q65 股関節部の先 天(性)変形	[医科] ICD-10(ver.2013):Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日20.0 (日20	[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多 20% 世 -20% 世 -40% で -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 24.0 2022年1~9月累積: 16.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -23.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
211	Q66 足の先天 (性)変形	[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 15.0 (田 15	[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 10% -60% -80% -100% -80% -100%
212	Q78 その他の骨軟 骨異形成<形成異 常>(症)	[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成 < 形成異常 > (症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成 < 形成異常 > (症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 世 -20% 世 -40% (70%) 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: -46.7 2022年6月: -46.7 2022年1~9月累積: -37.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -55.1 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
213	Q82 皮膚のその他 の先天奇形	[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 80 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第6次 第7波 第6の 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20%
214	Q90 ダウン < Down > 症候群	[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン <down>症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 15.0 (田イン) (ロングラングラングラングラングラングラングラングラングラングラングラングラングラン</down>	[医科] ICD-10 (ver.2013): Q90 ダウン <down>症候群外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6% 第2029年 1月 6月 1月 7回 1日 1日</down>
215	R00 心拍の異常	[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 90 (回	[医科] ICD-10 (ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 1 対2019年同期比(%)] 2022年6月:17.7 2022年6月:17.7 2022年6月:17.7 2022年1~9月累積:14.4 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -7.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013):R09 循環器系及び呼吸器系に	(2020~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に
216	R09 循環器系及び 呼吸器系に関する その他の症状及び 徴候	関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 100 日 75 50 第 25 中 25 中 25 中 25 中 2017年 2018年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 2022年6月: -1.6 2022年1~9月累積: 7.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -47.7 2020年 1月 6月 1月 70%
217	R10 腹痛及び骨盤 痛	[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 200 (日 200 ([医科] ICD-10 (ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 90% 1対2019年同期比(%)] 2022年6月: 14.4 2022年1~9月累積: 9.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -27.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)
218	R11 悪心及び嘔吐	[医科] ICD-10(ver.2013):R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (600 イドロングン (600 イドロン (600 イド (600 イドロン (600 イド (600 (600 イド (600 (600 (600 (600 (600 (600 (600 (60	[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% -60% -80% -100% -100% -80% -100
219	R25 異常不随意運動	[医科] ICD-10(ver.2013):R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 150 年) (回 150	[医科] ICD-10 (ver.2013):R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% -40% -60% -80% -100% -100% -80% -100% -100% -80% -80% -100% -80% -80% -80% -80% -80% -80% -80% -
220	R31 詳細不明の血 尿	[医科] ICD-10(ver.2013):R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロフラン・フロックでは、アラン・	[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多) 20% 日本 20%

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
221	R42 めまい < 眩暈 > 感及びよろめき 感	[医科] ICD-10(ver.2013):R42 めまいく眩暈>感及びよろめき感外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 300 (田イビのレイン) 数 100 押割 100 乗換 1	[医科] ICD-10(ver.2013):R42 めまいく眩暈>感及びよろめき感外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20%
222	R50 その他の原因 による熱及び不明 熱	Q 400 ♦ 2021年	[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 80% 60% 40% -20% 回 0% -40% -80% -80% -100% -80% -100
223	R51 頭痛	[医科] ICD-10(ver.2013):R51 頭痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 600 (回 600	[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 70% 日 10% 日
224	R52 疼痛, 他に分 類されないもの	[医科] ICD-10(ver.2013):R52 疼痛,他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛,他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 の% 正 -20% 世 -40% -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 34.2 2022年1~9月累積: 29.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -9.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日月 1日
225	R53 倦怠(感)及 び疲労	[医科] ICD-10(ver.2013):R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田イ100 (田イ100)	[医科] ICD-10(ver.2013): R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 70% 30% 世 10% 表 -30% -50% [図 2022年6月: 33.4 2022年6月: 33.4 2022年1~9月累積: 41.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -9.8 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
226	R60 浮腫,他に分 類されないもの	[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日150 日	[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫,他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 世 -40% 「一-20% 世 -40% 「一-20% 日 -60% 「一-20% 日 -100%
227	R63 食物及び水分 摂取に関する症状 及び徴候	[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四イングンが 50 押職 50	[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.1 2022年1~9月累積: 10.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -17.4 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
228	R68 その他の全身 症状及び徴候	[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日	[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2029年6月: 15.7 2022年6月: 15.7 2022年6月: 15.7 2022年1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
229	R73 血糖値上昇	[医科] ICD-10(ver.2013):R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 90 (回 9	[医科] ICD-10(ver.2013): R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (多 20% -60% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -80% -100% -80% -80% -100% -80% -100% -80% -80% -100% -80% -80% -80% -80% -80% -80% -80% -
230	S00 頭部の表在損 傷	[医科] ICD-10(ver.2013):S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40	[医科] ICD-10 (ver.2013): S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% -40% -60% -80% -80% -100% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -80% -100% -100% -80% -100% -80% -100% -100% -80% -100% -100% -80% -100% -1

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013):S13 頚部の関節及び靭帯の脱	(2020~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013):S13 頚部の関節及び靱帯の脱
231	S13 頚部の関節及 び靱帯の脱臼,捻 挫及びストレイン	日	ICD-10(Ver.2013):S13 類部の関則及び物帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移
232	S42 肩及び上腕の 骨折	[医科] ICD-10(ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 50 (田 イ40 ドクロン30 2019年 2021年 2021年 2021年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 10 11月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 90% -20% 世 -40% -80% -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: 6.9 2022年1~9月累積: 3.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -18.0 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
233	S46 肩及び上腕の 筋及び腱の損傷	[医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の 損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日60 日本 (日60 日 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日60 日 (日 (日60 日 (日 (日 (日 (日60 日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 ([医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の 損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 2022年6月: 47.6 2022年6月: 47.6 2022年6月: 47.6 2022年1~9月累積: 40.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -1.9 日本 2022年1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月 1月 6月
234	S52 前腕の骨折	[医科] ICD-10(ver.2013):S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 60 年) 2022年 中 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2016年 2015年 2017年 2016年 2015年 2015年 2017年 2016年 2015年 2015年 2017年 2016年 2015年 2015年 2015年 2016年 2015年 2015年 2015年 2016年 2015年 2015年 2016年 2015年 2015年 2016年 2015年 2015年 2016年 2015年 2016年 2015年 2015年 2016年 2015年 2015年 2016年 2015年 2016年 201	[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2002年6月: 7.8 2022年6月: 7.8 2022年1~9月累積: 4.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -19.8 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
235	S62 手首及び手の 骨折	[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回	[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 世 -40% -40% -80% -100% 駅急事態宣言 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -42.8 2022年1~9月累積: 1.8 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -42.8 2022年1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

NI.	人人米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
236	S82 下腿の骨折, 足首を含む		[医科] ICD-10(ver.2013):S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 0% 20% -40% -40% -80% -80% -100%
237	S83 膝の関節及び 靱帯の脱臼, 捻挫 及びストレイン	[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靱帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 125 125 125 125 125 125 125 125 125 125	[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靱帯の脱臼, 捻挫及びストレイン外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2029年 1月 6月 1日
238	S92 足の骨折, 足 首を除く	[医科] ICD-10(ver.2013):S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 60 (田 インロール (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% -20% 世 -20% 世 -40% 80% -80% -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 2022年6月: 21.1 2022年6月: 21.1 2022年1~9月累積: 16.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -17.0 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
239	S93 足首及び足の 関節及び靱帯の脱 臼, 捻挫及びスト レイン	** 2022年	[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靱帯の脱臼, 捻挫及びストレイン外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月:10.5 2022年10.5 2022年1~9月累積: 2.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -46.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
240	T14 部位不明の損 傷	[医科] ICD-10(ver.2013):T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (600 日	[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% -20% 中の一つのである。 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -4.2 2022年1~9月累積: -7.2 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -31.6 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013):T63 有毒動物との接触による	(2020~2022年、月次) [医科] ICD-10(ver.2013):T63 有毒動物との接触による
241	T63 有毒動物との 接触による毒作用	毒作用 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)	毒作用 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 20% 0% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10
242	T78 有害作用,他 に分類されないも の	[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用,他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日200 インフェン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイ	[医科] ICD-10(ver.2013):T78 有害作用,他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2009 世 -20% 世 -40% 「一20%」 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:15.3 2022年1~9月累積:9.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:一30.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
243	T80 輸液, 輸血及 び治療用注射に続 発する合併症	[医科] ICD-10(ver.2013):T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (50 日	[医科] ICD-10(ver.2013):T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)】 2022年6月:13.5 2022年1~9月累積:5.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-4.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
244	T88 外科的及び内 科的ケアのその他 の合併症,他に分 類されないもの	[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症,他に分類されないもの外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日の40	[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症,他に分類されないもの外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 32.5 2022年1~9月累積: 28.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -13.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
245	Z33 妊娠中の女性	[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (12.0 ([医科] ICD-10 (ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% -40% -60% -80% -10

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
246	Z90 臓器の後天性 欠損,他に分類されないもの	[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に 分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損,他に分類されないもの外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20% 20%
247	Z93 人工的開口状態	[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 20.0 15.0 15.0 2015年 2021年 2020年 2019年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2002年6月:25.3 2022年6月:25.3 2022年1~9月累積: 18.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -14.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
248	Z94 臓器及び組織 の移植後の状態	[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の 状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 20.0 (田 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 15.0 (日 16.0 (日	[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の 状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: 16.8 2022年6月: 16.8 2022年1~9月累積: 6.4 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -15.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
249	Z95 心臓及び血管 の挿入物及び移植 片の存在	[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 40	[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 世 -40% 一-100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 12.2 2022年1~9月累積: 9.7 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -9.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
250	Z96 その他の機能 性の挿入物の存在	[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングラングを表現して、アラングのでは、アラ	[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 90% 第20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月: 22.8 2022年1~9月累積: 21.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -7.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
251	状態	[医科] ICD-10 (ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 15.0 日 10.0 日 10	[医科] ICD-10 (ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 第3波 第5波 第6波 第7波 (※) 第6波 第7波 (※) 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 23.7 2022年1~9月累積: 20.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -12.2 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
110	<i>77 ×</i> ×	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻 炎及びアレルギー 性鼻炎 < 鼻アレル ギー > (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田子10,000 (田子1	[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 < 鼻アレルギー> (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: -15.4 2022年6月: -15.4 2022年1月 6月 1月 7次)
2	J45 喘息(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10 (ver.2013): J45 喘息(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (8,000	[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 世 -40% 「大 -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -28.0 2022年1~9月累積: -32.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -57.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
3	J06 多部位及び部 位不明の急性上気 道感染症(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四 7,500	[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 中 40% 日 2022年6月: -21.1 2022年6月: -21.1 2022年1~9月累積: -24.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -77.1 2020年 1月 6月 1月 6月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
4	J20 急性気管支炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10 (ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 20% 日本 100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -23.6 2022年1~9月累積: -29.9 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -80.8 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日 1月 6月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
5	L30 その他の皮膚 炎(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 5,000 日 イ,000 メション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・	[医科] ICD-10 (ver.2013):L30 その他の皮膚炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -40% 不 -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:-4.8 2022年1~9月累積:-8.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-34.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
INO	刀块	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
6	L85 その他の表皮 肥厚(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン(ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン) (ロイン(ロイン) (ロイン)	[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% サーイ0% 世ー-20% サーイ0% -60% -100% エー100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月:7.0 2022年1~9月累積:2.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:一28.1 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
7	H10 結膜炎(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日6,000 イスの00 イスの	[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 近に -20% 世 -40% 不 -80% -100%
8	A09 その他の胃腸 炎及び大腸炎,感 染症及び詳細不明 の原因によるもの (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: -20.9 2022年1~9月累積: -29.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -79.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
9	J02 急性咽頭炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 3,000	[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 世 -40% で -20% 世 -40% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 一32.5 2022年1~9月累積: 一29.4 1回目 2014年 2022年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
10	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 3,000	[医科] ICD-10(ver.2013): J01 急性副鼻腔炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第20% 第20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20% 第20%

N I	八华王	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
11	L20 アトピー性皮 膚炎(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 2,000 1,500 年 2022年	[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 同じ -20% サー40% -40% -100% 緊急事態宣言 2022年1~9月累積:-7.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-24.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
12	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 インスののの 日本 2022年 2020年 2020年 2020年 2019年 2020年 2016年 2016年 2016年 2015年	[医科] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 33波 第5波 第6波 第7波 第7波 第5波 第6波 第7波
13	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] < 感冒>(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2,000 (田 イン2015年 (日 イン2017年 (日 イン2018年 (日 イン2017年 (日 イン2018年 (日 イン2018年 (日 イン2016年 (日 イン2016年 (日 イン2016年 (日 イン2017年 (日 イン2016年 (日 (日 イン2016年 (日 イン2016年 (日 イン2016年 (日 イン2016年 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日 (日	[医科] ICD-10(ver.2013): J00 急性鼻咽頭炎[かぜ] < 感冒>(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 2022年6月: -31.9 2022年6月: -31.9 2022年1~9月累積: -38.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -78.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
14	H52 屈折及び調節 の障害(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインスの00/インが 1,000 中間 2019年 2020年 2018年 2021年 2021年 2021年 2020年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 20% 40% -20% 世 -20% 日 -20%
15	H66 化膿性及び詳 細不明の中耳炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中 耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 2,000 以 1,500 「 2,000 「 2	[医科] ICD-10(ver.2013): H66 化膿性及び詳細不明の中 耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 第3波 第5波 第6波 第7波 (反対2019年同期度(%)) 2022年6月: -53.1 2022年1~9月累積: -58.4 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -77.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

N.I.	八地工	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
16	H61 その他の外耳 障害(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 1,500 1,0	[医科] ICD-10(ver.2013): H61 その他の外耳障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多) 20% 日本 200% 日本 200% 日本 200% 日本 200% 日本 200% 日本 200% 日本 200% 日本 2002年6月: -14.4 2002年6月: -14.4 2002年1~9月累積: -21.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -59.4 2022年1月 6月 1月 70%
17	H65 非化膿性中耳 炎(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (1,500 年) (1,500 年) (2022年 2021年 2021年 2021年 2016年 2017年 2016年 2016年 2015年	[医科] ICD-10(ver.2013): H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% 不 -80% -100% 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -64.1 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
18	B07 ウイルス (性) いぼ < 疣 > <疣贅 > (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼく疣 > く疣贅> (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼく疣 > く疣贅>(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 世 -20% 世 -40% 「-20% 日 -60% 「-20% 日 -80% -100% 「国目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-20.0 2020年 2021年 2022年 1月 6月 1月 7日 1月 6月 1月 7日 1月 6月 1月 7日 1月 6月 1月 7日 1月 6月 1月 1月 6月 1日
19	J40 気管支炎, 急 性又は慢性と明示 されないもの(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 1,500	[医科] ICD-10(ver.2013): J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第2029年 1月 6月 1日
20	H60 外耳炎(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H60 外耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2018年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第6波 第7波 第7波 第6级 第7波 第6级 第7波 第6级 第7波 第6级 第7波 第6级 第7波 第6级 第7波

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
		(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
21	T14 部位不明の損 傷(年齢階級:0 〜14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):T14 部位不明の損傷(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 1,200 900 4 900 第急事態宣言 の該当期間(2020年) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 (%) 20% 20% 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (海2019年同期比(%)] 2022年6月: -11.6 2022年1~9月累積: -16.4 1回目 2回目3回目4回目最大減少幅: -47.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
22	J10 その他のイン フルエンザウイル スが分離されたイ ンフルエンザ(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10 (ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 年 2021年 2020年 2018年 20017年 2018年 2017年 2016年 2017年 2016年 2015年 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 20% 0% 20% 6月 -60% 2022年6月: -97.1 2022年6月: -97.1 2022年1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
23	K59 その他の腸の 機能障害(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン) (ロイン) (ロ	[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 2022年6月: 27.9 2022年6月: 27.9 2022年1~9月累積: 20.2 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -31.0 2020年 1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月
24	L50 じんま<蕁麻 >疹(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま<蕁麻>疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイタ900	[医科] ICD-10(ver.2013):L50 じんま〈蕁麻〉疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 世 -20% 世 -40% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:-6.2 又022年1~9月累積:-10.4 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-41.5 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
25	B08 皮膚及び粘膜 病変を特徴とする その他のウイルス 感染症,他に分類 されないもの(年 齢階級:0~14 歳)	□ 1,500	[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第622 第2022年6月 66.2 2022年1~9月累積: -57.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -80.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

NI.	八平工	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
26	A49 部位不明の細 菌感染症(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 1,000 (四 750 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (2) (4) (2) (4) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (8) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (8) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	[医科] ICD-10(ver.2013):A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 世 -40% 世 -40% -100% 「対2019年同期比(%)」 2022年6月:一803 2022年1~9月累積・79.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-85.9 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
27	T78 有害作用,他 に分類されないも の(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 イ750	[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% 名 -80% 〒 -80% 〒 -80% -100% 第3 回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -34.8 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
28	L01 膿か<痂>疹 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿かく痂>疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 1,000 (四 750	[医科] ICD-10(ver.2013):L01 膿か<痂>疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 20% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 1
29	J03 急性扁桃炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイチののよう) (ロイチののは、12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイチののは、12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイチののは、12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイチののは、12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイチののは、12月 2015年 (国イチののは、12月 2015年 (国イチののは、12月 2015年 (国イチののは、12月 2015年 (国イチののは、12月 2016年 (国イチののは、12月 2016年 (国イ	[医科] ICD-10(ver.2013): J03 急性扁桃炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 20% -20% 世 -40% 不 -80% -100% -1
30	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (1,500 (1,500 (1,000)	[医科] ICD-10(ver.2013):R11 悪心及び嘔吐(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月:-8.8 2022年1~9月累積:-19.4 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-79.9 2020年 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
	,,,,,,	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
31		[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 3,000 人	[医科] ICD-10(ver.2013): J11 インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第6波 第7波 第6級 第6級 第7波 第6級 第6級 第7波 第6級
32	R50 その他の原因 による熱及び不明 熱(年齢階級:0 〜14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田イビのリング (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	[医科] ICD-10(ver.2013):R50 その他の原因による熱及 び不明熱(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% (%) 60% 日本 20% 同日 0% 日本 20% 日本 2022年6月:28.8 2022年1~9月累積:48.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-75.1 2020年 1月 6月 1月 6月 日井 6月 1月 6月 日井 6月 1月 6月 日井 6月 1月 6月
33	L29 そう<掻>痒 症(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく掻>痒症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日の1/イン) (日の1/イン) (日	[医科] ICD-10(ver.2013):L29 そうく掻>痒症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 90% よ 20% よ 40% (%) 20% よ 40% (%) 20% よ 40% (%) 20% よ 40% (%) 20% よ 40% (%) 20% よ 40% (%) 2022年6月:-2.3 2022年6月:-2.3 2022年1~9月累積:-6.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-43.8 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
34	L08 皮膚及び皮下 組織のその他の局 所感染症(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 600 日 6	[医科] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 3
35	H01 眼瞼のその他 の炎症(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (600 日 (日) (100 年) (100 年) 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 世 -20% 世 -40% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:3.1 2022年1~9月累積: -1.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -32.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

Na	八米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
36	F84 広汎性発達障害(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F84 広汎性発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (1) 500 (2) (300 (4) (2) (400 (4) (400 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	[医科] ICD-10(ver.2013):F84 広汎性発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20%
37	J31 慢性鼻炎, 鼻 咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回	[医科] ICD-10(ver.2013): J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多) 20% 出口 -20% 世 -40% 「一-20%」 一-40% 「一-20%」 日 -60% 不 -80% -100% 「一-100%」 2022年6月: -40.0 2022年1~9月累積: -46.4 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -73.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
38	> (年齢階級:0	[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡〈アクネ〉(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 600 (ロイングンが2000年) 第2000年 2021年 2020年 2021年 2020年 2018年 2018年 2018年 2015年 2015年 2015年 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013):L70 ざ瘡〈アクネ〉(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 日
39	K29 胃炎及び十二 指腸炎 (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (1) 500 (1) 500 (2) 500 ([医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 10% 10% 10% 100% 100% 100% 100% 1
40	J04 急性喉頭炎及 び気管炎(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田子400 2019年 2021年 2020年 2019年 2017年 2016年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 1日

NI -	八平工	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
41	J18 肺炎,病原体 不詳(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):J18 肺炎, 病原体不詳(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (600 日 (600 日 (7) (7) (600 日 (7) (7) (800 日 (7) (800 日 (80	[医科] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月: -60.2 2022年6月: -60.2 2022年1月6月1月6月1月6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
42	L25 詳細不明の接 触皮膚炎(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 300 イドの01/インの	[医科] ICD-10(ver.2013):L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月:-13.9 2022年6月:-15.0 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-33.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
43	L22 おむつ<ナプ キン>皮膚炎(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L22 おむつ<ナプキン> 皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン200年) 2022年 2021年 2020年 2020年 2018年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% -40% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -4.3 2022年1~9月累積: -7.9 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -51.7 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
44	E86 体液量減少 (症) (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):E86 体液量減少(症)(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 400 (日 400	[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少(症)(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 世 -40% で -80% -100% 「対2019年同期比(%)」 2022年6月: -40.4 2022年6月: -40.4 2022年1~9月累積: -50.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -76.5 1月 6月 1月 72022年9月、月次)
45	H50 その他の斜視 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):H50 その他の斜視(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロンス) (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (10	[医科] ICD-10 (ver.2013): H50 その他の斜視 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 20% 40% (対2019年同期比(%))] 2022年6月: 15.4 2022年1~9月累積: 14.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -48.4 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期 (2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
INO	刀块	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
46	T63 有毒動物との 接触による毒作用 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による 毒作用(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイビのロングンが、2002年 2019年 2021年 2020年 2020年 2017年 2016年 2017年 2016年 2015年	[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による 毒作用(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 0% 0% 10% 20% 40% 20% 40% 20% 40% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (※) 20% (※) 20% (※) 20% (※) 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: -20.6 2022年1~9月累積: -20.6 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -37.1 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
47	H16 角膜炎(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):H16 角膜炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 300	[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 20% 20% 40% 20% 20% 40% (対2019年同期比(%)] 2022年6月:0.3 2022年1~9月累積: -2.8 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -46.7 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
48	R51 頭痛(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):R51 頭痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四	[医科] ICD-10(ver.2013):R51 頭痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 10% -20% 世 -40% -60% -100
49	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (300 日	[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 40% 20% 40% 1
50	G40 てんかん(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 250 (ロイン200 150 2015年) 2019年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):G40 てんかん(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 2022年6月:1.4 2022年6月:1.4 2022年6月:1.4 2022年1~9月累積:一5.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:一28.4 2020年 1月 6月 1月 7次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
140	力积	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
51	F80 会話及び言語 の特異的発達障害 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン200 (ロイン200 年) 2022年 2021年 2020年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): F80 会話及び言語の特異的発達障害(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第2022年6月:9.1 2022年6月:9.1 2022年1~9月累積: -0.9 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -34.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
52	R56 けいれん < 痙攣 > , 他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):R56 けいれん<痙攣>,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングンが、100 世間では、100 世間では、	[医科] ICD-10(ver.2013): R56 けいれん<痙攣>,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 日本 100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: -38.9 2022年1~9月累積: -33.8 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -61.2 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
53		[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 300 インスターの 100 日本 100	[医科] ICD-10(ver.2013):F90 多動性障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 90% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 1
54	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 200	[医科] ICD-10(ver.2013):D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 20% 世-40% 下3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6波 第7波 第6数 第6波 第7波 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数 第6数
55	B34 部位不明のウ イルス感染症(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):B34 部位不明のウイルス感染症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 600 (ロイドのロイン (ロイドの)	[医科] ICD-10(ver.2013):B34 部位不明のウイルス感染症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 80% 60% 出 40% に 0% よ20% に 0% よ20% に 0% よ2022年6月: -5.6 2022年1~9月累積:10.9 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -86.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

NIa	△○米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
56	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングンが 100	[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 90 20% 10% 10% 100% 12022年6月:7.5 2022年1~9月累積:4.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-20.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
57	H53 視覚障害(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロングン 150 を 2001年 20021年 20015年 20019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% そ -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月:9.1 2022年6月:9.1 2022年6月:9.1 2022年1~9月累積:10.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-42.0 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
58	K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回	[医科] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -25.1 2022年1~9月累積: -30.6 3回目 4回目 最大減少幅: -55.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
59	J46 喘息発作重積 状態(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (300 (300 (300 (300 (300 (300 (300 (30	[医科] ICD-10 (ver.2013): J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 60% 20% 40% [対2018年開期比(%)] 2022年6月: -38.5 2022年1~9月累積: -45.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -73.7 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
60		[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 年 2022年 2021年 2020年 2018年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靱帯の脱臼, 捻挫及びストレイン(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第2029年6月:8.4 2022年1~9月累積: -2.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -67.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

NI.	八米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
61	R10 腹痛及び骨盤 痛(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (200 日	[医科] ICD-10 (ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% 20% 切りのではできる。 第3波 第5波 第6波 第7波 第0% 同じ -20% 世 -40% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -3.8 2022年1~9月累積: -9.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -57.8 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
62	P07 妊娠期間短縮 及び低出産体重に 関連する障害,他 に分類されないも の(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン 150 年 2022年 2021年 2021年 2020年 2019年 2019年 2017年 2016年 2015年 2015年 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% (20% (20% (20% (20% (20% (20% (20%
63	L74 エクリン汗腺 の障害(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田	[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% -80% -100% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月:一14.1 2022年6月:一14.1 2022年1~9月累積: -23.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -50.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
64	R09 循環器系及び 呼吸器系に関する その他の症状及び 徴候(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 2000年 2019年 2021年 2020年 2019年 2018年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: 一9.4 2022年17月6月1月6月1月6月1月6月1月6月1月6月1月6月1月6月1月6月1月6
65	F82 運動機能の特 異的発達障害(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四 150	[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月:5.6 聚急事態宣言 2022年1~9月累積:-3.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-39.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

Na	△△米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
66	S00 頭部の表在損 傷(年齢階級:0 〜14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):S00 頭部の表在損傷(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 150 大りでは、150 「一 150 「一 2022年 1 2022年 1 2022年 2019年 2019年 2018年 2017年 2016年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):S00 頭部の表在損傷(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 20% 40% (%) 20% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 1
67	L98 皮膚及び皮下 組織のその他の障 害,他に分類され ないもの(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四 150	[医科] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月:-5.5 2022年1月6月1月6月1月6月1月6月1月6月時期(2020年1月~2022年9月、月次)
68	G47 睡眠障害(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級: 0 ~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロン200 150 150 150 150 150 150 150 150 150 1	[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 70% 30% 〒 1096 -1096 -50% -50% -50% -50% -50% -50% -50% -50%
69	H68 耳管炎及び耳 管閉塞 (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 150	[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第7波 2020年 -20% 世 -40% 表 -80% -100% 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -57.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
70	J37 慢性喉頭炎及 び慢性喉頭気管炎 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 150	[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 (対2019年同期比(%))] 2022年6月: -26.5 図202年1~9月累積: -32.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -49.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
INO	刀块	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
71	H90 伝音及び感音 難聴(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインのレイン)	[医科] ICD-10 (ver.2013): H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 40% 20% 40% (%) 20% 40% (%) 20% (***) 40% (***) 50% (***) 40% (***) 2022年6月: -22.3 2022年6月: -22.3 2022年6月: -22.3 2022年6月: -22.3 2022年6月: -22.3 2022年6月: -48.1 2020年 2021年 2022年1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
72	J35 扁桃及びアデ ノイドの慢性疾患 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 ロイドのロイドの関係を表現します。 150 年 2022年 2021年 2021年 2021年 2021年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 33波 第5波 第6波 第7波 (参) 20% 世 40% 長 2009 日 2022年6月: -35.7 2022年6月: -35.7 2022年1~9月累積: -37.9 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -50.4 2020年 1月 6月 1月 7次)
73	F79 詳細不明の知 的障害 < 精神遅滞 > (年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害 <精神遅滞>(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 (田インのレインが表 50・ 中央 2019年 2020年 2020年 2018年 2017年 2018年 2015年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% (対2019年同期比(%)] 2022年6月:6.8 2022年1~9月累積:一2.7 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:一38.8 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
74	J42 詳細不明の慢 性気管支炎(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイングラングラングでは、150 年 2022年 2021年 2020年 2020年 2018年 2018年 2018年 2018年 2015年 2016年 2015年 2015年 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月:-11.1 2022年6月:-11.1 2022年1~9月累積:-17.4 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-44.1 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
75	F98 小児<児童> 期及び青年期に通 常発症するその他 の行動及び情緒の 障害(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F98 小児〈児童〉期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 ロイングンがあります。 「関する。「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	[医科] ICD-10(ver.2013):F98 小児〈児童〉期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 40% 20% -40% (%) 33波 第5波 第6波 第7波 (対2019年同期比(%)] 2022年6月:-3.6 2022年1~9月累積:-6.3 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-28.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

Na	八米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
76	R44 一般感覚及び 知覚に関するその 他の症状及び徴候 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイングンが、 150 日本 1	[医科] ICD-10(ver.2013): R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 40% (%) 20% 世 -40% -60% 大 -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: -32.1 2022年1~9月累積: -38.9 1回目 2回目 3回目 最大減少幅: -77.2 2020年 1月 6月 1月 7次)
77	R62 身体標準発育 不足(年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): R62 身体標準発育不足(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四人) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	[医科] ICD-10(ver.2013):R62 身体標準発育不足(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 (***********************************
78	S52 前腕の骨折 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):S52 前腕の骨折(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインス)	[医科] ICD-10(ver.2013):S52 前腕の骨折(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -40% -60% -100% 1対2019年同期比(%)] 2022年6月:2.4 2022年6月:2.4 2022年1~9月累積:-3.2 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-26.4 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
79	G80 脳性麻痺(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺(年齢階級: 0 ~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイングン (ロイング) (ロイングン (ロイングン (ロイングン (ロイング) (ロイングン (ロイング) (ロイングン (ロイング) (ロイングン (ロイング) (ロイング) (ロイング) (ロイングン (ロイング) (ロイング) (ロイング) (ロイング) (ロイングン (ロイング) (ロイ	[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 2009 日本
80	R04 気道からの出 血(年齢階級:0 〜14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): R04 気道からの出血(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン) ([医科] ICD-10(ver.2013):R04 気道からの出血(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% 不 -80% -100% 緊急事態宣言 2022年1~9月累積:-10.5 1回目 2回目 3回目 最大減少幅:-47.8 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

NI.	八米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
81	M54 背部痛(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロソソ) を 90	[医科] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 第5波 第6波 第7波 (%) 第5波 第6波 第7波 (%) 2022年6月:-1.4 2022年6月:-1.4 2022年1~9月累積:-4.9 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-55.5 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
82	Q82 皮膚のその他 の先天奇形(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 (田イン) (田イ	[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (多) 20% 20% 20% 40% (第3波 第5波 第6波 第7波 2002年日期比(%)] 2022年6月:17.8 2022年1~9月累積:19.7 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -27.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
83	M21 (四) 肢のそ の他の後天性変形 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):M21 (四)肢のその他の後天性変形(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインののでは、100 年 2022年、日次) (ロインののでは、100 年 2022年、日次) (ロインののでは、100 年 2022年、日本のでは、100 日本のでは、100 日本のでは、	[医科] ICD-10(ver.2013): M21 (四)肢のその他の後天性変形(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 20% 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: 8.2 2022年6月: 8.2 2022年1~9月累積: 2.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -42.2 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
84	M79 その他の軟部 組織障害,他に分 類されないもの (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 125 (四イ100 75 2022年 2021年 2020年 2019年 2019年 2017年 2016年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):M79 その他の軟部組織障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第2029年6月:6.5 2022年6月:6.5 2022年1~9月累積:0.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:一52.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
85	S01 頭部の開放創 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):S01 頭部の開放創(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 120 120 120 120 120 120 120 120 120 120	[医科] ICD-10(ver.2013):S01 頭部の開放創(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% よる0% -60% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:-8.8 2022年1~9月累積:-11.6 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-25.4 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

Na	八米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
86	F48 その他の神経 症性障害(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 (回 (年) 100 (回 (日) 100	[医科] ICD-10(ver.2013):F48 その他の神経症性障害 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 20% (%) 第5波 (第7波 (第7波 (第7波 (第7波 (第7波 (第7波 (第7波 (第7
87	B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):B01 水痘[鶏痘](年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 200 (四イン) (150 本	[医科] ICD-10(ver.2013):B01 水痘[鶏痘](年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 2022年6月:-787 2022年6月:-787 2022年6月:-787 2022年6月:-787 2022年6月:-787 2022年6月:-787 2022年6月:-787 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-80.6
88	B37 カンジダ症 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):B37 カンジダ症(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 インション・ (回 イン (回 (回 イン (回 イン (回 イン (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回 (回	[医科] ICD-10(ver.2013):B37 カンジダ症(年齢階級: 0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 90% 日 -20% 日 -20%
89	Q21 心(臓)中隔 の先天奇形(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイソ) (ロインの) (ロイン) (ロイ	[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓)中隔の先天奇形(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 9% 回 -20% 世 -40% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月: 5.1 2022年1~9月累積: -5.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -32.5 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
90	L28 慢性単純性苔 せん < 癬 > 及び痒 疹(年齢階級:0 ~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L28 慢性単純性苔せん<癖>及び痒疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回 イロロートリングを) 100 年 2022年 2021年 2021年 2021年 2019年 2018年 2017年 2016年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013):L28 慢性単純性苔せん〈癬〉及び痒疹(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 30% 40% (%) 20% 30% 40% (%) 20% 40% (%) 20% 40% (%) 20% (対2019年同期比(%)) 2022年6月:-13.2 2022年1~9月累積:-13.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-39.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

Na	△△米五	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
91	L03 蜂巢炎 < 蜂窩 織炎 > (年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎〈蜂窩織炎〉(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン) (ロイン)	[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巢炎〈蜂窩織炎〉(年 齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 (%) 20% 日本 (20%)
92	L27 摂取物質による皮膚炎(年齢階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 Y 90	[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第2029年6月:-31.6 2022年6月:-31.6 2022年6月:-31.6 2022年1~9月累積:-30.9 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-40.2 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
93	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級:0~ 14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 120 (四 Y 90 60	[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% サー40% を100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:-14.3 2022年6月:-11.8 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-24.1 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
94	M25 その他の関節 障害,他に分類されないもの(年齢 階級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイン 75	[医科] ICD-10(ver.2013): M25 その他の関節障害,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 0% 20% 中-40% でである。 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月: 5.9 2022年1~9月累積: -3.2 1回目 2021年 2022年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
95	D22 メラニン細胞 性母斑(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 125 (ロイ100 75 2022年 2021年 2021年 2021年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): D22 メラニン細胞性母斑(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20%

NI.	八平工	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
No	分類	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
96	K52 その他の非感 染性胃腸炎及び非 感染性大腸炎(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 120 (ロイビの01/インの120 年) 2012年 2022年 2017年 2021年 2020年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎(年齢階級:0~14歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 40% (%) 20% 10% 10% 10
97	J96 呼吸不全,他 に分類されないも の(年齢階級:0 〜14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (四 Y 150	[医科] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全,他に分類されないもの(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 70% 10% 10% 10% 10% 2022年6月: 37.9 2022年1~9月累積: 58.6 -50% 2021年 2022年 1月 6月 1月 7次)
98	F89 詳細不明の心 理的発達障害(年 齢階級:0~14 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F89 詳細不明の心理的発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 150 (田イビの100)	[医科] ICD-10(ver.2013): F89 詳細不明の心理的発達障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 出版 20% 日本 20
99	S62 手首及び手の 骨折 (年齢階級: 0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 125 年 2022年 2021年 2021年 2021年 2020年 2018年 2017年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): S62 手首及び手の骨折(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 日 20% 日 20
100	E34 その他の内分 泌障害(年齢階 級:0~14歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):E34 その他の内分泌障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田子2001年 2021年 2020年 2020年 2020年 2020年 2020年 2018年 2018年 2018年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10 (ver.2013): E34 その他の内分泌障害(年齢階級:0~14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -40% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:6.1 2022年1~9月累積: 1.0 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -31.4 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
140	刀块	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻 炎及びアレルギー 性鼻炎<鼻アレル ギー>(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎 < 鼻アレルギー> (年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (5,000 ス4,000 素 2019年 2020年 2020年 2020年 2020年 2018年 2018年 2015年 2015年 2015年 1,000 対 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>(年齢階級:15~39歳)外来延べ患者数対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 第2022年6月:-18.7 2022年6月:-18.7 2022年1~9月累積:-21.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-44.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
2	J06 多部位及び部 位不明の急性上気 道感染症(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインスののでは、1,000	[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 40% 日 20% 同 0% 日 20% 同 0% 日 20% 日 3回目 3回目 4回目 最大減少幅: -73.9 日 6月 日 1月 6月 日 1月 6月 日 1月 6月 日 1月 6月 日 1月 6月 日 1月 6月
3	K29 胃炎及び十二 指腸炎(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (田 1,500	[医科] ICD-10(ver.2013): K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 第3波 第5波 第6波 第7波 第6波 第7波 第2019年同期比(%)] 2022年6月: -4.8 2022年6月: -4.8 2022年1~9月累積: -6.3 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -30.6 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
4	H52 屈折及び調節 の障害(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 1,500	[医科] ICD-10(ver.2013): H52 屈折及び調節の障害(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 第5波 第6波 第7波 20% 第5波 第6波 第7波 2022年6月: -11.5 2022年1~9月累積: -12.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -48.0 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日 1日 日 1日
5	H10 結膜炎(年齢 階級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): H10 結膜炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (3,000 インスの2,000 インスの2,000 「第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 30% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 10% 1

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
140	刀枳	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
6	J20 急性気管支炎 (年齢階級:15~ 39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイング) 1,000 (ロイング) 1,000	[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 20%
7	L30 その他の皮膚 炎(年齢階級:15 〜39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 1,200 (ロインの) (ロイン	[医科] ICD-10(ver.2013):L30 その他の皮膚炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -20% 世 -40% そ -80% -100% 「対2019年同期比(%)] 2022年6月:12.7 2022年1~9月累積:9.5 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-11.9 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
8	G47 睡眠障害(年 齢階級:15~39 歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (日 1,200 800 800 2015年 2021年 2021年 2021年 2021年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 出版 第3波 第5波 第6波 第7波 (%) 20% 上 40% 「大 -80%」 「対2019年同期比(%)」 2022年6月: 25.8 2022年1~9月累積: 21.2 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅: -8.6 2020年 1月 6月 1月 7~2022年9月、月次)
9	L85 その他の表皮 肥厚(年齢階級: 15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロインス) ([医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 日本 20% 日本 20%
10	F32 うつ病エピ ソード(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロンドン 1000円	[医科] ICD-10(ver.2013):F32 うつ病エピソード(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 世 -40% 表 -80% -100% 緊急事態宣言 2022年1~9月累積:24.4 1回目 2回目 最大減少幅:-7.8 2022年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)

No	分類	各年1~12月の推移図	対2019年同月比
140	刀双	(2015~2022年、月次)	(2020~2022年、月次)
11	J45 喘息(年齢階 級:15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロイフ50 大阪 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 2015年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 (%) 20% 10% 10% 10% 10% 10% 108 108 108 108 108 108 108 108 108 108
12	J02 急性咽頭炎 (年齢階級:15~ 39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (ロンフラング 750	[医科] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 100% 以上 第3波 第5波 第6波 第 波 第 2022年6月: -34.8 2022年6月: -34.8 2022年6月: -34.8 2022年6月: -73.2 2020年 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)
13	L70 ざ瘡<アクネ >(年齢階級:15 ~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡〈アクネ〉(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (回	[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡<アクネ>(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数対2019年同月比の推移 (%) 20% 日本 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 20% 日本 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日本 20% 日本 1月 6月 1月 6月 1月 6月 日本 20% 日本
14	A09 その他の胃腸 炎及び大腸炎,感 染症及び詳細不明 の原因によるもの (年齢階級:15~ 39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級: 15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) 年 2022年 2021年 2020年 2018年 2017年 2016年 2015年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 時期(1~12月、月次)	[医科] ICD-10(ver.2013): A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 第3波 第5波 第6波 第7波 20% 20% 20% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 30% 3
15	L20 アトピー性皮 膚炎(年齢階級: 15~39歳)	[医科] ICD-10(ver.2013):L20アトピー性皮膚炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次) (800 日 イン・12月の推移(2015~2022年、月次) (800 日 イン・12月 (2015~2022年、月次) (800 日 イン・12月 (2015~2022年、月次) (800 日 イン・12月 (2015~2022年、月次) (800 日 イン・12月 (2015年) (800 日 イン・12日 ([医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:15~39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移 40% 20% 30% 40% 53波 第5波 第6波 第7波 20% 40% 53波 第5波 第6波 第7波 2002年6月:11.2 2022年6月:11.2 2022年1~9月累積:8.1 1回目 2回目 3回目 4回目 最大減少幅:-6.3 2020年 1月 6月 1月 6月 1月 6月 時期(2020年1月~2022年9月、月次)